

「丁寧さ」の程度について

陶 琳

1. はじめに

本研究は、日本での「丁寧さ」の特色として井出（1986）が指摘した「わきまえによる敬語行動」と、欧米での「丁寧さ」の特色として指摘した「働きかける敬語行動」とが一回の敬語行動の中でどのような割合で、またどのようなストラテジーとしてともに含まれているかを考察する。更に、そのストラテジーの中に、言語による丁寧表現がどのように組み込まれるかを検討し、敬語行動と丁寧表現の相互関係を明らかにする。

そこで、基本的な調査資料として丁寧表現の中でのストラテジーとしての「丁寧さ、わきまえ、働きかけについての使用の割合」を測るために、本研究では井出(1986)の研究を参照し、「ペンを借りる場面」を設定し、中国語のデータを収集し、中国語の用法を考察する。本研究が比較のポイントとして最も注目したのは「丁寧さ」の割合と文の長さの相関関係である。日中言語は「文がながくなればなるほど、「丁寧さ」の割合が高くなる」という共通点を持つ。しかし、その内部の構成要素、(文を長くする機能を持つ)には各々、異なった特徴があることが判明した。

2. 調査方法

「丁寧さ」の程度を決定する要素に関する先行研究として、上記『日本人とアメリカ人の敬語行動』井出他（1986）がある。この研究は「ペンを借りる」場面を設定し、敬語行動をさまざまな角度から分析することにより、きわめて多面的に解明しており、優れた研究と思われる。そこで、本研究でも「ペンを借りる」場面を設定し、井出らの日米のアンケートを中国語に翻訳してアンケート調査表を作り、中国人のインフォーマントにアンケート調査を行い、分析した。そしてさらに、男女の性別による比較を加えてある。

2.1 調査の手順

基本的な調査資料として収集したアンケートはコンピューターを利用し、複雑で大量のデータの結果を計算した。

分析する手順は次のように行なう。

- (1) Part 1 丁寧表現（井出論文では敬語表現）の丁寧度に関する質問について
- (2) Part 2 行動の丁寧度に関する質問について
- (3) Part 3 どの丁寧表現をどの相手・場面に使うか（わかまえか、働きかけか）に関する質問について
- (4) 表現の長さ丁寧度との関係分析
- (5) 「丁寧表現」の構成要素（文を長くしていく言語形式）について
- (6) まとめ

本論の Part 3 は、自由な回答方式と Part 2 で提示したリストの相手・場面对してそれぞれのどの表現を使うかを Part 1 で与えられたリストの中から選んで貰った。

2.2 調査時期と場所

1998年12月から1999年6月までアンケート調査を行った。調査実施場所は日本国内の金沢大学、富山大学、東京電気通信大学、静岡大学、名古屋大学、北陸大学、富山医科薬科大学、富山県立大学であり、中国国内は張家口市、鄭州市、昆明市の大学と会社等である。

2.3 調査対象

今回の調査は中国人の留学生、中国国内の大連市、張家口市、鄭州市の大学生、大学院生、大学を卒業した会社員、公務員を調査対象とした。丁寧表現を詳しく調べ比較する為には、大学生のようなある程度知的・教育的レベルが揃っている人間を対象とすることが望ましいと思われる。年齢は20代（男22、女性20）、30代（男22、女性18）、40代（男10、女性10）である。中国国内46名、日本で留学生56名である。男性54人（53%）、女性48人（47%）である。その中、学部生58（57%）、大学院44（43%）である。

3. 本研究の分析方法

3.1 井出祥子他(1986)の「日米の敬語行動」

井出他(1986)によると、「敬語行動」を構成する要素は二つある。第一の要素は言語表現である。たとえば「ペンを借りたい」という一つの情報を伝える時、「ペンを借りるよ。」「ペンをお借りしてもよろしいでしょうか。」などの丁寧度の異なる言い方があるが、このような言語表現を「敬語表現」とよぶ。この概念は本論での「丁寧表現」に相当する。第二の要素は人間の丁寧な行動に関するルールである。例えば、誰に対して、どういう場面で、どういう意図の発話のときに、どの程度の丁寧度の行動をとるべきかに関する社会のルールのことである。これは人間の行動をコントロールするさまざまなルールの一つであると考えられる。井出他(1986)は「丁寧さ」について次のように述べている。

「一般的に、「丁寧さ」というとき、我々は各社会・文化に特有な丁寧さの概念を思いうかべる。例えば、日本人にとっての「丁寧さ」というのは、目上の人に対して配慮することを重視するが、アメリカ人にとっての“politeness”は、相手に押しつけないよう配慮することを重視するというように。実際、社会・文化ごとに「丁寧さ」の特徴は異なるようにみえるが、実は、それは社会・文化のあり方に応じたさまざまな要素から成る丁寧さの程度の差であるものが、質の差のように受け取られるのではないかと考えられる。例えば、上記の日本人に特有と思われる「丁寧さ」は、アメリカ人にもみられ、アメリカ人に特有と思われるものは日本人にも見られる。つまり、ある文化に特有と思われるものでも、少なくとも潜在的には普遍的に存在すると考えられるものがある。」

実際、既に述べたように、中国社会では対人関係において、日本人の目上の人に対する配慮を重視する「丁寧さ」とアメリカ人の相手に押し付けられない配慮を重視する“politeness”の両方が見られる。だから、本研究で使う「丁寧さ」という言葉で表す概念は、中国人、日本人、アメリカ人のそれぞれ異なる「丁寧さ」を全て含んだ普遍的なものとして考えることにする。

井出ら(1986)は「ストラテジーによる敬語行動」は、「わかまえ」と「働きかけ」の方式による「敬語行動」を含む枠組であることを提案した。これは日米に共通の枠組として設定されている。この研究によれば、「敬語行動」を

人間行動のオリエンテーションの問題としてとらえる「ストラテジーによる敬語行動」は、日本で「敬語行動」として常識的に理解されているような「わかきまえによる敬語行動」もその一部として含まれている。例えば、日本語の尊敬語が目上の人に対して使われた場合の例を挙げる：

学長は昨日会場へいらっしゃって、展示作品を丁寧にご覧になりました。
(1986 : p51)

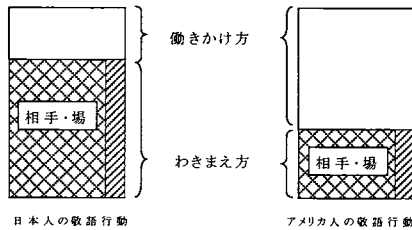


図1 日米の敬語行動の枠組

(井出他『日本人とアメリカ人の敬語行動』1986:27)

それは「わかきまえを示す敬語行動」であるが、ストラテジーの枠組の中では、Brown & Levinson による *negative politeness* の一部を成す “give deference”(相手と距離を置く)のために使われたストラテジーであるし、Layoff による “formality (keep aloof)” (公的、形式的表現)のために使われたストラテジーとも考えられる。このように尊敬語の使用は、目上の人に使わなければならないという社会的に規定されたルールにしたがう「わかきまえを示す敬語行動」であると同時に、話し手が積極的に相手に敬意を示したり、相手との距離を保つために「働きかける敬語行動」でもある。「わかきまえ方式」と「働きかけ方式」は、実際の「敬語行動」では同一の表現で示されることが多く、両者は深くかかわり合っているのである。

図1は、日本人とアメリカ人の「敬語行動」の全体量が同じと仮定し、その内容を、内省によるおよその比率で各々二分したものである。図1で示すように、どちらの方式をどちらの人々がより多く使うか、という各要素の相対的な量の違いとしてとらえられる。アメリカ人にとっては、「わかきまえ方式」よりも「働きかけ方式」の比重が大きく、その反対に日本人が重視するのは、「働きかけ方式」より「わかきまえ方式」である。日本人にとっては、「わかきまえ方式」による「敬語行動」は、社会・文化の慣習にしたがっておこなわなければならない受動的な行動である。そのわかきまえを規定するものは、社会的距離(社会的地位、力関係、年齢などにより生じる距離)、人と人との親疎

関係、場面や話題の改まりの度合、相手への負担度などである。これらは話し手にとって、相手(や話題になっている人)との間に認識される一つの距離として捉えられる。この距離は心的距離ともいうべきものだが、一般的に言われる心的距離と区別するために、PD(Perceived Distance)と呼ぶことにする。井出がPDに応じてとる行動が「わきまえ方式」による「敬語行動」である。例えば、話し手より地位が高く、疎の関係の人に改まった場面で接するときは、一番PDが大きく、地位が同じで親しい人にくださった場面で接する時にPDが小さくなる。PDの大きい人に対しては、尊敬語、丁寧語や婉曲的な表現などを使い、PDの小さい人に対しては、その反対にくださった表現などを使うのが一般的な「わきまえ方式」による「敬語行動」である。それを重要なこととして表明する「わきまえ方式」の占める比重が大きい。それに反しアメリカは、「わきまえ方式」に応じた敬語行動は比較的少なく、言葉を使う時の神経は、主として相手にどう働きかけるかに向けられている。(井出他『日本人とアメリカ人の敬語行動』1986:24-27)

3.2 本研究の仮説・作業仮説

本研究は、以上、紹介した井出他(1986:27-31)などの研究が見出した。次の仮説をもとに調査資料を分析し、考察した。

仮説: 中国人も日本人もともに、「わきまえ」方式による敬語行動を敬語行動の一部としておこなっている。「わきまえ方式」の丁寧度を測るものさしとしてPDが存在し、その値の主な決定要因は、(1)相手の人物カテゴリーと(2)それに伴う人物と接触する場面である。

前提として、調査方法が案出される基本概念は次の2作業仮説である。

作業仮説1: PD(Perceived Distance)は、その距離の最大(「ソト」「目上」など)から最小の位置(「ウチ」「目下」「家族」などを両極とする一本の線)で表わすことのできるものと仮定する。その線は中日共通に理解されるものである。

PDは、「最も改まった時」として認識される時を最大の丁寧度、「最も気楽な時」として認識される時を最小の丁寧度とし、この両極とする丁寧さを測定するものさしは中国人にも日本人にも共通のものであると仮定する。

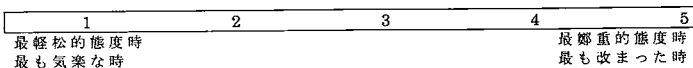


図2 本調査で使用したPDによる丁寧度のもんさし

調査上の技術的制約のため、図2で示すように設定した丁寧度を表わす中日共通のものさしには、井出(1986)が用いたものさしを使用する(図2)最大・最小を両極とし、それを便宜上5段階に点数づけしたものである。最大のPDを5、最小のPDを1とし、その間を4等分して、4, 3, 2の目盛をつける。

作業仮説2: 敬語行動」のうち、言語表現の「丁寧さ」に関するルールと、行動の「丁寧さ」に関するルールはお互いに自律的である。「敬語行動」は、理論的にはこの二つのルールの適度な組み合わせとしてとらえることができる。

4. Part 1 丁寧表現の丁寧度に関する質問について

Part1の質問事項は以下のとおりである。

第一部分 (中国語)

1. 假设你在与你想借笔的人说话。下面是在这种情景下，您可能使用的一系列表现。如果这一系列表现中有您在普通情况下，不使用的表现，请用线划掉。

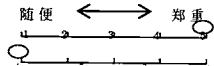
例如：~~借一下你的笔。~~

- a. 能不能借一下那枝笔？
- b. 可以借一下那枝笔吗？
- c. 借一下那枝笔好吗？
- d. 我想请您借一下那枝笔（不知道可以不）。
- e. 可以借一下那枝笔吧？
- f. 想请您借一下那枝笔。
- g. 可否请您借一下那枝笔？
- h. 笔？
- i. 可以用一下那枝笔吗？
- j. 能否借给我一下那枝笔？
- k. 借一下那枝笔吧。
- l. 请借我一下那枝笔。
- m. 借一下那枝笔。
- n. 借一下那枝笔可以吗？
- o. 有笔没有？
- p. 想要借一下那枝笔。（不知道可以不）。
- q. 用一下那枝笔行吗？
- r. 借给我一下那枝笔吧。
- s. 请借一下那枝笔好不好？
- t. 请借给我一下那枝笔。
- u. 请借一下笔给我。
- v. 笔有吗？

请自第4例起使用本栏解答

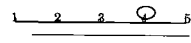
	1	2	3	4	5
a.	_____	_____	_____	_____	_____
b.	_____	_____	_____	_____	_____
c.	_____	_____	_____	_____	_____
d.	_____	_____	_____	_____	_____
e.	_____	_____	_____	_____	_____
f.	_____	_____	_____	_____	_____
g.	_____	_____	_____	_____	_____
h.	_____	_____	_____	_____	_____
i.	_____	_____	_____	_____	_____
j.	_____	_____	_____	_____	_____
k.	_____	_____	_____	_____	_____
l.	_____	_____	_____	_____	_____
m.	_____	_____	_____	_____	_____
n.	_____	_____	_____	_____	_____
o.	_____	_____	_____	_____	_____
p.	_____	_____	_____	_____	_____
q.	_____	_____	_____	_____	_____
r.	_____	_____	_____	_____	_____
s.	_____	_____	_____	_____	_____
t.	_____	_____	_____	_____	_____
u.	_____	_____	_____	_____	_____
v.	_____	_____	_____	_____	_____

- 2. 上面没有划掉的表现里，请选一下您最郑重其事使用的表现，写在括号里（两个以上也不要紧）。（ ）
- 3. 下面请选一下您最随便使用的表现，写在括号里（两个以上也不要紧）。（ ）
- 4. 如果我们有一个1到5的刻度。您最郑重其事使用的表现是5。您最随便使用的表现是1。



问题1里您没有划掉的表现里，最适用的是什么？

请在右面的刻度上划个圈。比如您认为稍微郑重其事的表现在时请划在4的刻度上。



4.1 使わないとして削除された表現

アンケートでは、まず井出(1986)の調査手順に従って、表現のリストの中からあなたが普段使わないと思う表現を削除してもらった。削除数は任意である。それを線で消す。

表 2AB を見ると、どの表現がどのくらい削除されているか、また中国側は年齢、男女の違いなどが分かる。削除の数が多い順に並べる。

アンケート原文には、「ペン」「ペンある？」以外に、すべて「ちょっとそのペン」がつけてある。日本語のアンケート用例表 2A は全 20 種類であり、中国語では、原則として、日本語の用例 (a-t) にほぼ相等する表現をとりあげた。しかし、「ちょっとそのペンいい」の表現は中国語で適當の表現はないので、代わりに「想请您借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸していただきたいんです。)」の表現を使う。また、日本語用例=2種「v. 笔有吗?(ペンある?)」「u. 请借一下笔给我。(ちょっとペンを借りてください。)」を加えた。アンケート用例全 22 種。

表 2A 使わないとして削除された表現(日本)(1986: 77)(回答者数 525 人)

削除された表現	削除したインフォーマントの人数	全回答者に対する比率(%)
ペン	302	57.5
お借りしてもよろしいでしょうか。	278	53.0
貸していただきたいんですけど	239	45.5
貸してよ	211	40.2
ある	201	38.3
借りるよ	185	35.2
お借りできますか	177	33.7
使っていていい	150	28.6
貸して下さいませんか	140	26.7
貸してほしいんだけど	134	25.5
貸していただけますか	119	22.7
いいですか	118	22.5
貸してもらえませんか	106	20.2
貸してくれませんか	102	19.4
いい	92	17.5
貸していただけませんか	89	17.0
貸してください	82	15.6
借りていい	69	13.1
貸して	34	6.5
貸してくれる	31	5.9

表 2A(日本語)は 30%以上を削除した表現は合計 7 種である。表 2B(中国語)は 30%以上を削除した表現は合計 10 種である。日米とも (1986.77-78)

「ペン」、「A pen」というような、ペンその物をいうものがまず削除されている。

表2B 使わないとして削除された表現(中国) (回答者数 102人)

削除された表現	削除したインフォーマントの数									全回答者に対する比率
	20代		30代		40代		人数			
	男 22	女 20	男 22	女 18	男 10	女 10	男	女	合計	
o. 有笔吗?(ペンをもっている?)	9	14	17	11	6	7	32	32	64	63%
h. 笔?(ペン?)	10	15	14	9	7	7	31	31	62	61%
d. 我想请您借一下那枝笔。(不知道可以不)。(ちょっとそのペン貸してくださるようお願いしたいのですか、いかがでしょうか。)	7	14	12	8	6	2	25	24	49	48%
f. 想请您借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸していただきたいんです。)	6	14	13	6	5	4	24	24	48	47%
g. 可否请您借一下那枝笔?(ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか。)	1	12	13	7	4	3	18	22	40	39%
r. 借给我一下那枝笔吧。(ちょっとそのペン私に借りよ。)	6	6	11	7	6	4	23	17	40	39%
k. 借一下那枝笔吧。(ちょっとそのペン貸してよ。)	6	11	5	8	4	4	15	23	38	37%
p. 想要借一下那枝笔(不知道可以不)。(ちょっとそのペン貸してほしいんだけど。)	7	11	8	4	6	2	21	17	38	37%
e. 可以借一下那枝笔吗?(ちょっとそのペン借りてもいいでしょうか?)	5	8	7	4	5	5	17	17	34	33%
m. 借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸して。)	3	9	9	5	5	3	17	17	34	33%
u. 请借一下那枝笔给我。(ちょっとペンを貸して、私に。)	3	5	9	5	3	4	15	14	29	28%
j. 能否借给我一下那枝笔?(ちょっとそのペン貸してもらえますか?)	4	6	10	2	4	2	18	10	28	27%
s. 请借一下那枝笔好不好?(ちょっとそのペン貸して下さいますか?)	5	8	6	4	4	1	15	13	28	27%
t. 请借给我一下那枝笔。(ちょっとそのペンを私に貸してくれる。)	2	6	9	4	4	2	15	12	27	26%
v. 笔有吗?(ペンある?)	3	6	7	5	2	3	12	14	26	25%
l. 请借我一下那枝笔。(ちょっとそのペンを貸してください。)	5	2	2	1	3	4	10	7	17	17%
a. 能不能借一下那枝笔?(ちょっとそのペン貸していただけますか?)	1	3	6	1	3	2	10	6	16	16%
c. 借一下那枝笔好吗?(ちょっとそのペン借りていいですか?)	2	6	6		1	1	9	7	16	16%
b. 可以借一下那枝笔吗?(ちょっとそのペンお借りできますか?)	1	5	5	1	2		8	6	14	14%
n. 借一下那枝笔可以吗?(ちょっとそのペンを借りてよろしいですか。)	1	3	5	1	3	1	9	5	14	14%
q. 用一下那枝笔行吗?(ちょっとそのペンを使ってもいい?)		3	5		2	4	7	7	14	14%
l. 可以用一下那枝笔吗?(ちょっとそのペンを使ってもいただけますか?)	3	2	3		1	2	7	4	11	11%
合計	90	169	182	93	86	67	358	329	687	

中国では、一番多く削除されているのは「有笔吗?」、次に「笔!」である。井出他(1986)の研究と同じく、借りるという行為に物の名前だけでは失礼な言い方で、不適当と考えて削除した者が多かったのではないかと推測される。そして、三番目に多く削除されているのは「我想请您借一下那枝笔, 不知道可以不。(ちょっとそのペン貸してくださるようお願いしたいのですが、いかがでしょうか。)」という中国では長くて非常に丁寧な言い方であ

る。又、日本の場合は二番目に挙げられている「ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか」という長くて非常に丁寧な言い方が削除される。井出他(1986)の指摘通り、これらの表現はインフォーマントの学生のレパートリーにはあまりふくまれていないものであると思われる。

本研究で調査した(表 2B)では中国の削除された表現が、日本と似ていることがわかる。丁寧度の高い方も低い方も削除されているということである。更に詳しく分析していくと以下のことが説明できる。

(1)「我想请您借一下那枝笔, 不知道可以不。(ちょっとそのペン貸して下さるようお願いしたいのですが、いかがでしょうか。)」, 「想请您借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸していただきたいんです。)」, はとても丁寧な言い方で、4割以上の人削除している。

(2) 文尾に「吧」の付く表現は三つとも3割以上の人削除している。

(3) 男女、年齢の差も見える。丁寧度の低い方も削除されているが、丁寧度の高い方の削除されている順番は一致しないということである。

4.2 最も改まった表現／最も気楽な表現

質問 2 と質問 3 では、インフォーマント各自が質問 1 で削除しなかった表現のうち、「最も改まった態度でいる時に使う表現」と「最も気楽な態度でいる時に使う表現」を答えてもらった。集計してみると、ペンを借りる時に使う丁寧度の両極 PD(1 と 5) に位置する表現がどのようなものであるかが分かる。頻度順に比率を表にすると、表 3、表 4 の場合、表 2 とは異なり、回答頻度の総計(中国語 174)を母数として計算してある。

A) 最も改まった態度でいる時に使う表現(中国)

日本では、敬語表現で長いもの(形態素の数が多いもの)「ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか」(29.4%)「ちょっとそのペン貸していただけませんか」(25.5)が、「最も改まった」と考えられている。ところが「ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか」は普段使わない表現として 2 番目に多く削除されている。このことはインフォーマントが学生であるために、普段の使用頻度が低い、と考えていることを反映している。

このことはすなわち、丁寧表現に関するアンケート調査で表れる数値が常に被験者の「その人物と接触する場面」とによって大きく左右されるということの実例である。

表3 最も改まった態度でいる時に使う表現(中国)

(回答者数 102人)

選ばれた表現(頻度順)	回答頻度										比率	累計比率
	20代42		30代40		40代20		人数					
	男 22	女 20	男 22	女 18	男 10	女 10	男	女	合計			
g. 可否请您借一下那枝笔?(ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか。)	9	8	6	7	3	2	18	17	35	20%	20%	
d. 我想请您借一下那枝笔。(不知道可以不)。(ちょっとそのペン貸してくださるようお願いしたいですか、いかがでしょうか。)	4	9	7	5	2	3	13	17	30	17%	37%	
j. 能否借给我一下那枝笔?(ちょっとそのペン貸してもらえませんか?)	4	6	2	2	2	1	8	9	17	10%	47%	
a. 能不能借一下那枝笔?(ちょっとそのペン貸していただけませんか?)	4	1	5	2	1	1	10	4	14	8%	55%	
n. 借一下那枝笔可以吗?(ちょっとそのペンを借りてよろしいですか。)	4	2	4	1			2	8	5	13	7%	63%
b. 可以借一下那枝笔吗?(ちょっとそのペンお借りてできますか。)	1	2	3	1	2	3	6	6	12	7%	70%	
s. 请借一下那枝笔好不好?(ちょっとそのペン貸して下さいませんか?)	1	4	2	1	1	2	4	7	11	6%	76%	
f. 想请您借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸していただきたいんです。)		4	2	2		1	2	7	9	5%	81%	
l. 可以用一下那枝笔吗?(ちょっとそのペンを使っていただけますか?)	1		5	2		1	6	3	9	5%	86%	
c. 借一下那枝笔好吗?(ちょっとそのペン借りていいですか?)	2	1	1	2		1	3	4	7	4%	90%	
t. 请借给我一下那枝笔。(ちょっとそのペンを私に貸してくれる。)	1	1	2	1	1		4	2	6	3%	94%	
e. 可以借一下那枝笔吗?(ちょっとそのペン借りてもいいでしょうか?)	1	1	2				3	1	4	2%	96%	
u. 请借一下笔给我。(ちょっとそのペンを貸して、私に。)			3				3	0	3	2%	98%	
l. 请借我一下那枝笔。(ちょっとそのペンを貸してください。)		1	1				1	1	2	1%	99%	
p. 想要借一下那枝笔。(不知道可以不)。(ちょっとそのペン貸してほしいんだけど。)			1				1	0	1	1%	99%	
r. 借给我一下那枝笔吧。(ちょっとそのペン私に借りよ。)			1				1	0	1	1%	100%	
合 計	32	40	47	26	12	17	91	83	174			

中国の調査では、インフォーマントに学生以外に社会人、年配者がふまれている。中国でも、敬語表現で長いもの(「可否请您借一下那枝笔?(ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか。)」、「我想请您借一下那枝笔, (不知道可以不)?(ちょっとそのペン貸してくださるようお願いしたいですが、いかがでしょうか。(ちょっとそのペン貸していただきたいんですけれど。))」などが、最も改まった」と考えられている。しかし、表3を示すように、男女、年齢の差がある。例えば男性は「能不能借一下那枝笔?(ちょっとそのペン貸していただけませんか?)」を女性より多く選らんで

いるのに対し、女性は「想请您借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸していただきたいんです。)」を男性より多く選んでいる。

B) 最も気楽な態度でいる時に使う表現(中国)

日本語の「最も気楽な態度でいる時に使う表現」に一番多いのは「ちょっとそのペン貸して」(29.2%)である。次は「ちょっとそのペンいい」(23.5%)、「ペンある」(16.4%)、「ペン」(9.2%)である。敬語表現が含まれていない、短いものが選ばれた。

表4 最も気楽な態度でいる時に使う表現(中国)

選ばれた表現(頻度順)	回答頻度									比率	累計比率	
	20代		30代		40代		人数					
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計			
v. 笔有吗?(ペンある。)	9	9	12	4	6	5	27	18	45	32%	32%	
h. 笔? (ペン)	5	7	7	6			1	12	14	26	19%	51%
o. 有笔吗? (ペンをもっている。)	2	3	3	4	2	3	7	10	17	12%	63%	
m. 借一下那枝笔。 (ちょっとそのペン貸して。)	3	4	4	2			2	7	8	15	11%	74%
u. 请借一下笔给我。 (ちょっとそのペンを貸し手、私に。)		3	3				3	3	6	9	6%	80%
q. 用一下那枝笔行吗? (ちょっとそのペンを使っていい。)		2	1	1	1			2	3	5	4%	84%
l. 可以用一下那枝笔吗? (ちょっとそのペンを使っていただけますか。)	1	1		2				1	3	4	3%	86%
T 请借给我一下那枝笔。 (ちょっとそのペンを私に貸してくれる。)	1	1	1	1				2	2	4	3%	89%
b. 可以借一下那枝笔吗? (ちょっとそのペンをお借りできますか。)		1		1			1	0	3	3	2%	91%
n. 借一下那枝笔可以吗? (ちょっとそのペンをお借りよろしいですか。)	1	1	1					2	1	3	2%	94%
a. 能不能借一下那枝笔? (ちょっとそのペン貸していただけませんか。)	1	1						1	1	2	1%	95%
c. 借一下那枝笔好吗? (ちょっとそのペン借りていいですか。)	1				1			2	0	2	1%	96%
k. 借一下那枝笔吧。 (ちょっとそのペン借りよ。)			2					2	0	2	1%	98%
p. 想要借一下那枝笔。 (ちょっとそのペン貸してほしいんだけど。)		1		1				0	2	2	1%	99%
r. 借给我一下那枝笔吧。 (ちょっとそのペン私に貸してよ。)		1						0	1	1	1%	100%
合計	24	35	34	22	10	15	68	72	140			

中国語の結果は日本語と同じ、敬語表現が含まれていない、短いものが選ばれた。一番多いのは「笔有吗?(ペンある?)」(32%)である。次は「笔?(ペン)」(19%)、「有笔吗?(ペンをもっている?)」(12%)、「借一下那枝笔。(ちょっとそのペン貸して。)」(11%)である。また中国では、年齢、性別によって、選ばれた表現が違うことがわかった。例えば、女性が選んだ表現「可以借一下那枝笔吗?」、「想要借一下那枝笔。(不知道可以不。」「借给我一

下那枝笔吧。」は、男性は選ばなかった。40代の男性は「笔?」、「请借一下笔给我。」が選ばなかった。

4.3 各表現の丁寧度

質問4では、質問1で削除しなかった各表現に対して5段階で丁寧度を目盛上の位置をインフォーマントに答えてもらった。

比較するために、日米の研究と同じく、表の左端には、インフォーマントの個人番号を入れている。中国では、22個の数字が横に並んでいるが、これはインフォーマントがアンケート記号ABCの順にそって各表現に付けた1-5の丁寧度の値である。数字がぬけているところは、使わないとして削除した者である。最後の英文字は、はじめが最も改まった表現、2番目が最も気楽な表現として選んだ表現の記号である。

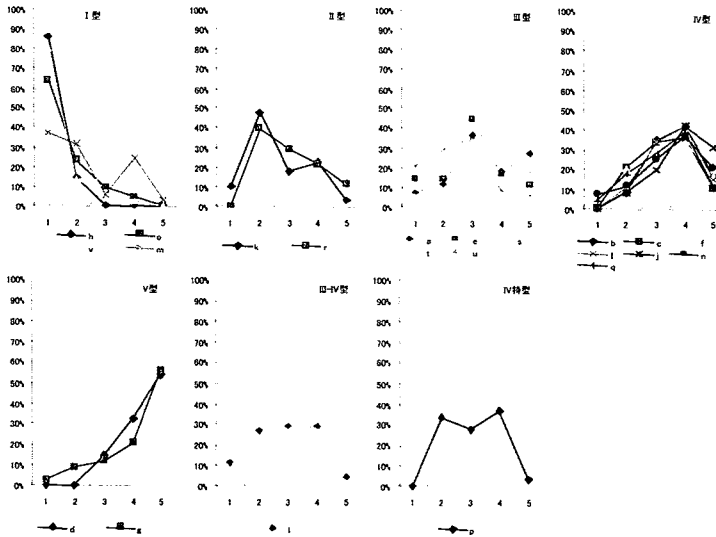


図1 Part 1の回答分布(中国男性)

(左軸は表現記号、横軸は丁寧度1から5まで)

本研究の各表現について、丁寧度1から5まで、それぞれ何%あったかという回答の配分を表5になる。

表5 中国全体の各表現の丁寧度

表現	丁寧度(男54人)					丁寧度(女48人)					丁寧度(合計)					Σ	丁寧度(%)				
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤		①	②	③	④	⑤
a	3	5	16	8	12	2	4	8	23	8	5	9	24	31	20	89	6%	10%	27%	35%	22%
b	0	4	17	20	8	2	4	9	21	11	2	8	26	41	19	96	2%	8%	27%	43%	20%
c	0	10	16	17	5	1	8	15	13	9	1	18	31	30	14	94	1%	19%	33%	32%	15%
d	0	0	4	9	15	0	0	3	5	20	0	0	7	14	35	56	0%	0%	13%	25%	63%
e	5	5	16	6	4	2	9	10	9	3	7	14	26	15	7	69	10%	20%	38%	22%	10%
f	3	6	6	10	5	0	2	4	14	10	3	8	10	24	15	60	5%	13%	17%	40%	25%
g	1	3	4	7	19	2	0	2	4	22	3	3	6	11	41	64	5%	5%	9%	17%	64%
h	18	3	0	0	0	17	3	2	0	0	35	6	2	0	0	43	81%	14%	5%	0%	0%
i	0	5	16	20	7	1	5	21	14	6	1	10	37	34	13	95	1%	11%	39%	36%	14%
j	0	3	7	15	11	1	6	8	12	16	1	9	15	27	27	79	1%	11%	19%	34%	34%
k	4	19	7	9	1	2	9	16	1	2	6	28	23	10	3	70	9%	40%	33%	14%	4%
l	5	12	13	13	2	1	7	12	12	7	6	19	25	25	9	84	7%	23%	30%	30%	11%
m	14	12	2	9	1	9	13	7	6	0	23	25	9	15	1	73	32%	34%	12%	21%	1%
n	3	5	11	16	9	5	13	15	9	3	10	24	31	18	86	3%	12%	28%	36%	21%	
o	14	5	2	1	0	19	2	0	0	0	33	7	2	1	0	43	77%	16%	5%	2%	0%
p	0	11	9	12	1	4	4	13	11	1	4	15	22	23	2	66	6%	23%	33%	35%	3%
q	2	8	13	18	5	1	6	21	12	4	3	14	34	30	9	90	3%	16%	38%	33%	10%
r	0	11	8	6	3	1	6	11	11	4	1	17	19	17	7	61	2%	28%	31%	28%	11%
s	2	7	12	11	6	0	1	7	14	11	2	8	19	25	17	71	3%	11%	27%	35%	24%
t	1	10	14	8	7	0	7	11	15	4	1	17	25	23	11	77	1%	22%	32%	30%	14%
u	7	10	12	3	2	4	8	19	3	3	11	18	31	6	5	71	15%	25%	44%	8%	7%
v	36	6	2	1	0	30	8	1	2	0	66	14	3	3	0	86	77%	16%	3%	3%	0%

そのままグラフにすると、図1(男性)、図2(女性)、図3(男女性)のようになる。例えばI型のh「筆? (ペン)」について丁寧度見方は気楽表現(1)が一番多く、86%であり、(2)は14%、(3)(4)(5)がない。II型はk表現について一番気楽な表現を思った人が10%である。丁寧度2を選んだ人は48%、3を思った人が18%、4を思った人が23%である。一番改まった態度でいる時使う表現は非常に少なく3%である。この表現は均一的な意見を持っていると言えない。III型のa表現もバラバラであることに気づく。丁寧度3を思った人が36近くに対して、一番改まった態度でいる時使う表現と思った人は27%に近い。また、1表現は2度、3度、4度を思った人は30%前後であり、p表現では丁寧度2を選んだ人は33%程度であり、4を思った人が36%近くバラバラであることに気づく。

全体的に見ると、中国では、男性は女性に比べ、表現に対する丁寧度意識の一致が少ない。表現の丁寧度の評価に個人差が大きいということになる。

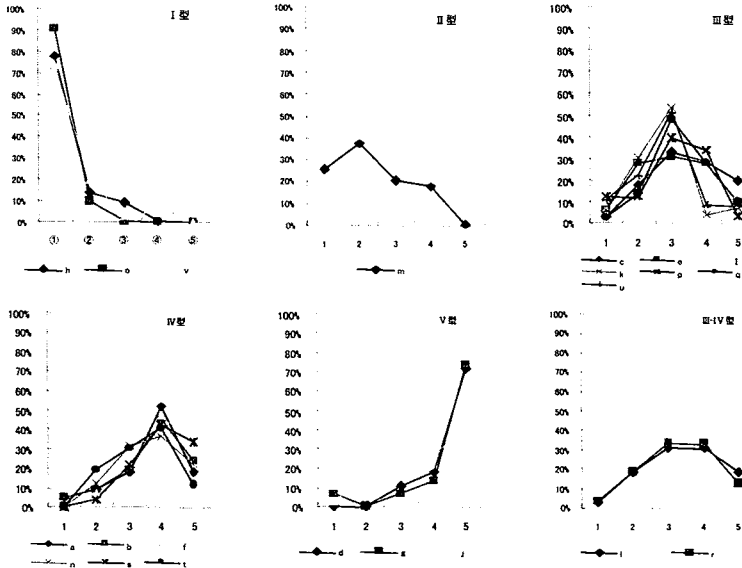


図 2 Part 1 の回答分布 (中国女性)

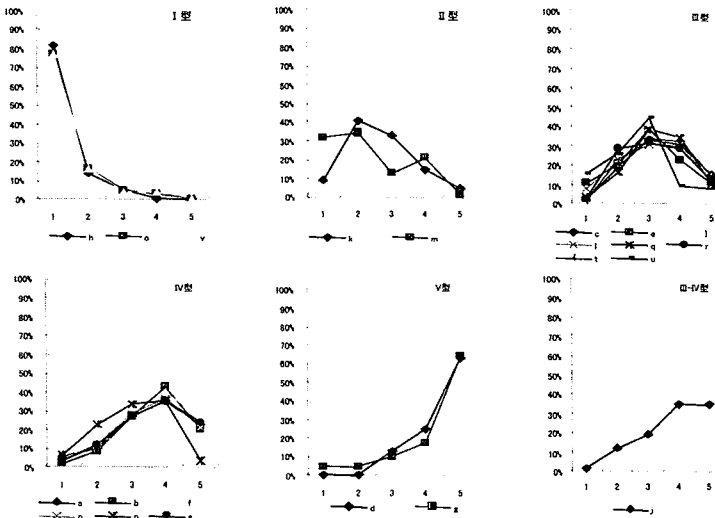


図 3 Part 1 の回答分布 (中国男女性)

井出他(1986 : p86)の研究によって、日本の回答を縦に見ていくと、日本は表現の丁寧度に関し、均一的な意見を持っていると言える。それに対し、中国は男性の回答がバラバラであることに気づく。女性の方が比較的表現の丁寧度に関し、均一的な意見を持っていると言える。

図3を日本で比較すると、Ⅰ～Ⅲ型について、中国女性は日本とかなり似ていることが分かる。ただⅡ型は一つしかなかった。Ⅳ型は中国女性と日本が似ている。又、折れ線の山がなだらかで、回答のばらつきの多さが目立つ。Ⅲ型は中国男性の方が違う。Ⅴ型は男女とも日本と違う。Ⅳ特型は本研究に特別な型であり、日米の研究に見られない。そうみると、中国の表現の丁寧度というものに個人差があり、固定してないイメージがある。

4.4 属性別の特徴

中、日を総合的に見るために、日本の研究のように、インフォーマントの回答をそのまま丁寧度の点とみなし、全員の回答を平均するというやり方で算出した。代表値として平均値を用いた。男女の結果は図4のとおりである。ここで、男女間に差のあることがはっきり見える。表現と表現の間隔はさまざまであるが、女性の表現の丁寧度は男性よりかなり高い傾向を示す。しかし、低い表現は男性より低いところもある。

日本を比較すると、日本では表現の丁寧度の順序が男女でそれほど変わっていないのに対し、中国では、丁寧度の高い方の表現「我想请您借一下那枝笔，不知道可以不。」「可否请您借一下那枝笔？」の順序は男女で変わらないが、ほかの表現だとかなり違う。個々の表現の丁寧度に対する受け取り方は、日本より中国の方が男女差は大きい。

中国の男女を比べるとアメリカの男女と類似している。女性の方がやや点数の幅が広い。日本ではそのような差は見られなかった。また、中国、アメリカでは女性は男性にくらべて表現間にややはっきりと丁寧度の異なりがあるように思われる。

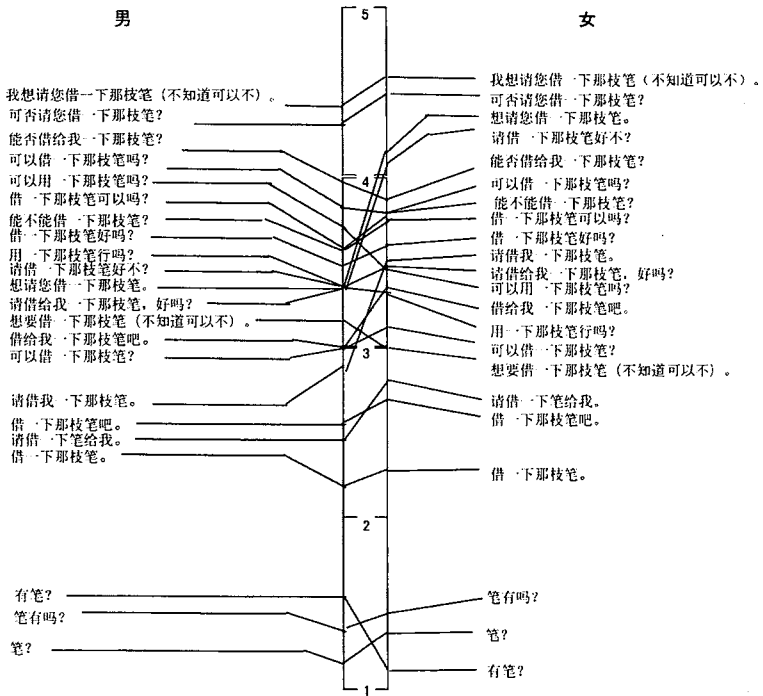


図4 表現丁寧度の平均値の男女差 (中国)

丁寧な方の表現には一定した男女差は見られないが、個々の表現を見ていくと、中、日とも男女の判断がかなり違っている。

5. Part 2 行動の丁寧度に関する質問について

5.1 接する可能性のない人物カテゴリー

質問5では、まず、会ったこともない人物カテゴリーを削除してもらった。どの人物カテゴリーがどのくらい削除されているかは表6のようにになる。削除の数が多い順に並べる。表6に示されたように、男女、年齢の差も見られる。Part2の質問事項は次の通りである。

第二部分 (中国語)

5. 下面是各种各样的人物和情景表。如果有您认为接触不到的人，请划掉。

比如：~~外国总统~~

- A. 穿着退了色的牛仔褲的人（在邮局排在您的后面。）
 B. 经常去的小卖部的店员。
 C. 同事（或打工地方的同事）
 D. 打工地方的老板。
 E. 相识的学生（上课前的教室里）
 F. 妈妈（在家说话时）
 G. 初次见面的医生（诊疗室）
 H. 邮局窗口的人
 I. 指导教授（或者接触多的教授）（在教研室）
 J. 哥哥/姐姐（在家说话时）
 K. 高年级学生
 L. 穿着整齐服装的不相识的中年人（在邮局排在您的后面）
 M. 亲友（房间里说话中）
 N. 男/女朋友（在你的房间里说话）或夫妇
 O. 警察（违反交通规则时）
 P. 大商店的营业员
 Q. 相识的年轻的大学教授（图书馆的大厅里）
 R. 经常去的茶馆的男/女服务员
 S. 研究室的助教或秘书（询问教授的情况）
 T. 弟/妹（在家说话时）
 U. 面试官（入学面试/就职面试）
 V. 校长/系主任（请求书类盖章时）

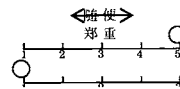
请自第 8 问起使用本栏解答

	1	2	3	4	5
A.					
B.					
C.					
D.					
E.					
F.					
G.					
H.					
I.					
J.					
K.					
L.					
M.					
N.					
O.					
P.					
Q.					
R.					
S.					
T.					
U.					

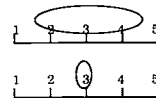
6. 问题 5 没有划掉的人里，请选一下您最郑重其事使用的表现，写在括号里（两个以上也不要紧）。（ ）

7. 下面请选一下您最随便使用的表现，写在括号里（两个以上也不要紧）。（ ）

8. 如果我们有一个 1 到 5 的刻度。您最郑重其事的态度接触的人用 5 表示，您最随便的态度接触的人用 1 表示。



问题 5 里您没有划掉的人在 1 到 5 的刻度里，最适用的是什么？请想象一下与那个人说话的情景来回答。也许各种各样的人都有。如果说其同事，各种各样的同事都有，您可能决定不了刻度。这时，请您按照右图的示范。但是，如果大概在刻度上能表示的，请在右面刻度上划个圈。



中国では、一番多かった「经常去的茶馆的男/女服务员（ウエイター・ウエイトレス）」を 38% のインフォーマントが削除している。日米とも「ウエイター・ウエイトレス」も 33%、30% のインフォーマントが場面設定にあるようななじみの店がないらしく削除している。

次に、中国で多く削除されているのは「研究室的助教或秘书（助手・秘書）」32% であり、日本では、「助手・秘書」25.5% である。しかしこれに対し、中国 30 代の女性はただ一人が削除している。中、日で大きく異なるのは、「兄/姉」は日本で半数以上のインフォーマントが削除しているのに対し、中国では、「哥哥/姐姐」12% のインフォーマントは削除している。また、中、日で大きく異なるのは「男/女朋友」「彼/彼女」で、日本では 37.5% もの

インフォーマントが削除しているのに対し、中国約 11%のインフォーマントが削除している。

表 6 会う可能性がないとして削除された相手（中国）

削除された相手	削除したインフォーマントの数									比率
	20代42		30代40		40代22		人数			
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計	
R. 经常去的茶馆的男/女服务员（ウェーター/ウェートレス）	6	8	13	3	5	4	24	15	39	38%
S. 研究室的助教或秘书（研究室の助手または秘書）	5	6	11	1	6	4	22	11	33	32%
D. 打工地方的老板（アルバイト先の上司）	7	5	8	3	4	1	19	9	28	27%
Q. 相识的年轻的大学教师（顔見知りの若い大学の先生）	8	6	6	1	4	3	18	10	28	27%
K. 高年级学生（上級生）	5	5	8	1	4	3	17	9	26	25%
L. 穿着整齐服装的不相识的中年人（きちんとした服装の中年の見知らぬ人）	8	4	8	1	3	2	19	7	26	25%
A. 穿着退了色的牛仔褲的人（見知らぬ人色あせたジーンズを穿いた人）	7	3	10		3	2	20	5	25	25%
O. 警察（警察）	5	5	6	3	4	1	15	9	24	24%
I. 指导教授（指導教授）	4	3	6		4	4	14	7	21	21%
U. 面试官（面接試験官）	6	2	6		5	2	17	4	21	21%
V. 校长/系主任（校長/学部長）	5	3	4	1	6	2	15	6	21	21%
B. 经常去的小卖店的店员（小売り店の店員）	4	2	9	1	2	1	15	4	19	19%
P. 大商店的营业员（大きなデパートの店員）	4	3	8		1		13	3	16	16%
T. 弟/妹（弟/妹）	6	5	2	1	2		10	6	16	16%
E. 相识的学生（顔見知りの学生）	4	2	4	2			8	4	12	12%
H. 邮局窗口的人（郵便局の窓口の人）	3	3	6				9	3	12	12%
J. 哥哥/姐姐（家で話す時）（兄・姉）	2	4	1	2	1	2	4	8	12	12%
G. 初次见面的医生（診療室）（医者）	3	4	3	1			6	5	11	11%
N. 男/女朋友（彼/彼女）或は夫婦	2	3	1	1	3	1	6	5	11	11%
C. 同事（同僚）		3	3				3	3	6	6%
M. 亲友（部屋で話中）（親戚）	3	2					3	2	5	5%
F. 妈妈（家で話す時）（母）		2					0	2	2	2%

5.2 最も改まった態度で接する相手/最も気楽な態度で接する相手

質問 6 と 7 では質問 5 で削除されなかった人物カテゴリーのうち、最も改まった態度で接する相手と最も気楽な態度で接する相手を選んでもらった。どういう人物カテゴリーであろうか。

表 7 及び表 8 が示すところを見ると、中国人が最も改まった態度で接する相手と最も気楽な態度で接する相手は、どういう人物カテゴリーであるかになり、同時に丁寧度から見た人間関係のパターンの側面が分かる。

最も改まった態度で接する相手について男女の回答結果を比較すると、中国では上位二つの人物カテゴリー「面接試験官」「学長/学部長」について

は男女で一致している。日本の回答結果と比較してみると、上位5つ(「日」)
「教授」、「中年の人」、「警察」、「アルバイト先の上司」、「医者」、の人物カテ
ゴリーに対して、中国では「中年の人」は含まれないという相違がある。し
かし、中国、日本とも、学生の日常生活における上下関係の認識の上で、大
学での上下関係が圧倒的に大きな比重を持っている。ただ、それらの各人物
に対する回答数について見ると、中、日に違いがある。

表7 最も改まった態度で接する相手 (中国)

人物カテゴリー(頻度順)	回答頻度									比率	累計 比率
	20代42		30代40		40代20		人数				
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
V. 校長／系主任(学長/学部長)	9	15	11	8	2	6	22	29	51	28%	28%
U. 面试官(面接試験官)	11	13	9	6	1	4	21	23	44	24%	52%
I. 指导教授(指導教授)	6	8	5	4	2	3	13	15	28	15%	67%
G. 初次见面的医生(医者)	2	2	6	1	4	2	12	5	17	9%	76%
O. 警察	1	5	3	2	1	1	5	8	13	7%	83%
D. 打工地方的老板(アルバイト先の上 司)	1	1	2	5	1	1	4	7	11	6%	89%
L. 穿着整齐服装的不相识的中年人(き ちんとした服装の中年の見知らぬ人)	1	2				1	1	3	4	2%	91%
S. 研究室の助教或秘书(助手/秘書)		2	2				2	2	4	2%	93%
F. 妈妈(母)	1		1		1		3	0	3	2%	95%
M. 亲友(在房间谈话中)(親戚)			2		1		3	0	3	2%	97%
Q. 相识的年轻的大学生(顔見知りの 若い大学の先生)	1		1				2	0	2	1%	98%
A. 穿着退了色的牛仔裤的人				1			0	1	1	1%	98%
C. 同事(同僚)			1				1	0	1	1%	99%
H. 邮局窗口的人(郵便局の窓口の人)		1					0	1	1	1%	99%
T. 弟/妹			1				1	0	1	1%	100%

表8は、「最も気楽な態度で接する人」を頻度順に並べたものである。最も
気楽な態度で接する相手の第一位は中国で男女とも「弟/妹」(25%)であ
る。日本では「弟/妹」が第二位で20.6%の回答を得た回答である。中国で
女性の「哥哥/姐姐」(兄/姉)「男/女朋友」(彼/彼女)は同じパーセンテ
ージで第二位であったが、男性の「哥哥/姐姐」は第三位であり、「男/女朋
友」(彼/彼女)は第四位であった。ただ日本でも、「彼/彼女」は第四位で
あった。男性で第二位の「妈妈」(母)が女性では日本と同じく第三位であ
った。

全体を見ると、中日の第4位「男/女朋友」「彼/彼女」は同じである。
それらの各人物に対する回答数についてみると、中、日に違いがあることが
わかった。例えば、日本の「親友」46%は第一位であり、最も丁寧度の低い

人物である。日本では仲間に配慮は必要がないかもしれない。それに対して、中国では、「弟／妹」に対して一番支配しやすと考えられる。また、日本と同じ、「兄／姉」はやはり年上ということで、「弟／妹」ほど気楽に接していないということである。

表 8 最も気楽な態度で接する相手（中国）

選ばれた表現（頻度順）	回答頻度									比率	累計比率
	20代42		30代40		40代20		人数				
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
T. 弟／妹	5	12	11	6	7	5	23	23	46	25%	25%
F. 妈妈（家で話す時）（母）	4	6	8	4	2	2	14	12	26	14%	40%
J. 哥哥／姐姐（兄・姉）	8	7	4	5		1	12	13	25	14%	53%
N. 男／女朋友或夫妇（彼／彼女或は夫婦）	3	11	5	1	1	1	9	13	22	12%	65%
M. 亲友（部屋で話中）（親戚）	1	5	5	3	2	1	8	9	17	9%	75%
C. 同事（アルバイト仲間）（同僚）	3	2	3	2	2	2	8	6	14	8%	82%
E. 相识的學生（顔見知りの學生）		3	2	3		2	2	8	10	5%	88%
R. 经常去的茶馆的男／女服务员（ウェーター／ウェートレス）	3	1	2	1	1	1	6	3	9	5%	93%
B. 经常去的小卖店的店员（小売り店の店員）		1	3	2	1	1	4	4	8	4%	97%
A. 穿着褪了色的牛仔褲的人（見知らぬ人色あせたジーンズを穿いた人）			2			1	2	1	3	2%	99%
K. 高年级學生（上級生）				1			0	1	1	1%	99%
P. 大商店的营业员（大きなデパートの店員）			1				1	0	1	1%	100%

以上、よく会う可能性のある人物カテゴリーが高い頻度で出現する可能性がある。回答には、日常接する頻度の影響が見られるのである。

5.3 相手の人物カテゴリーに対する丁寧度

質問 8 では、質問 5 で削除されなかった各人物カテゴリーについて、5段階の目盛上の位置を答えてもらった。

人物カテゴリーについて、丁寧度 1 から 5 までに分け、その語の丁寧度は何%か回答の配分を男女別に集計したグラフが、図 4、図 5 である。図は回答の最頻値を基準に、丁寧度 1, 2, 3, 4, 5 を頂点としまとめたものである。男女を合わせたものを、図 6 のようにする。

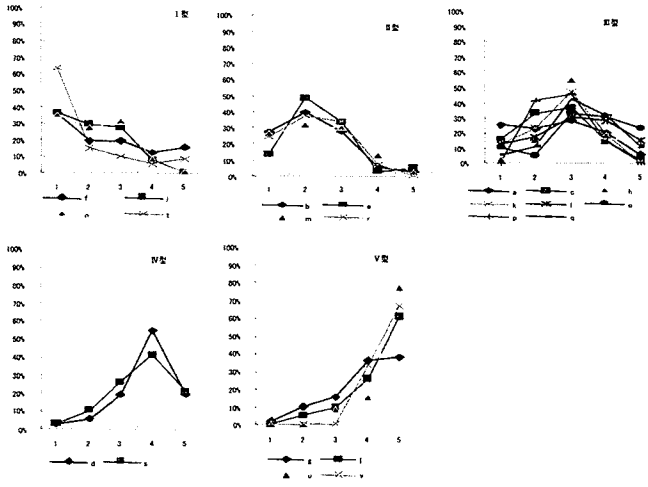


図4 Part 2 の回答分布 (中国男性)

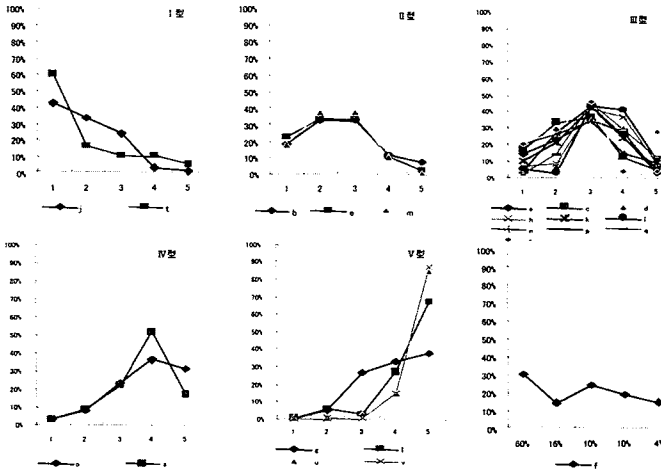


図5. Part 2 の回答分布 (中国女性)

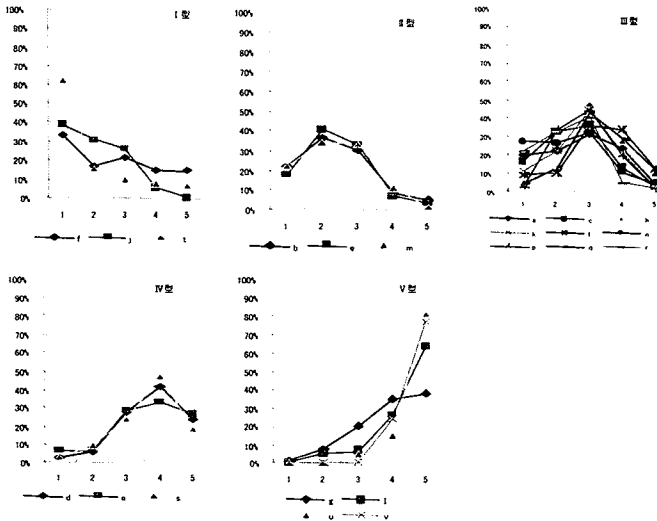


図 6. Part 2 の回答分布 (中国男女性)

各図を比較すると、各図の山型にはかなり似ているものがある。しかし、中国が、山のピークははっきりしないもの、日本ほど高くないものも多く、回答にばらつきが多い。

中国では、Ⅲ型が一番多かった。Ⅴ型は男女の各人物カテゴリーが同じである。人物カテゴリーは中、日で同じようなものを指しているとして対応させることができる。Ⅰ型は「母」「弟／妹」「兄／姉」で中、日とも共通であり、「彼／彼女」は日本、中国の男性に共通である。しかし、日本と異り、中国の「親友」はⅡ型である。「彼／彼女」はⅢ型である。

Ⅱ型は中国では「小売店の店員」、「顔見知りの学生」、「親友」がある。「顔見知りの学生」は中、日とも共通である。

Ⅲ型は中、日でかなり異なる。中国は「ジーンズはいている人」、「郵便局員」、「デパートの店員」「中年の人」、「ウェーター/ウエートレス」、「大学の若い先生」、「彼／彼女」、「アルバイト仲間」、「上級生」があり、一番多い。この型の「ジーンズはいている人」、「郵便局員」、「デパートの店員」が中、日に共通である。また、Ⅲ型は中国の「男／女服务员」と日本の「ウェーター/ウエートレス」が共通である。中国は「小売店の店員」を除いて、他サービス業の人は日本と同じ、Ⅲ型である。

中、日で大きく違うのは、Ⅳ型であり、中、日に共通のものはなかった。中国は「アルバイト先の上司」、「警察」、「助手／秘書」である。ただし、「中

年の人」「医者」は日米に共通であり、「助手／秘書」、「アルバイト先の上司」、「警察」は中日に共通である。

表 9 相手の人物カテゴリーに対する丁寧度

丁寧度 相手	男					女					合計					%					
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	Σ	①	②	③	④	⑤
ジーンズの人		8	10	7	2	6	9	14	11	1	15	17	24	18	3	77	19%	22%	31%	23%	4%
小売店の店員	11	16	11	2	1	8	15	15	5	3	19	31	26	7	4	87	22%	36%	30%	8%	5%
アルバイト仲間	10	21	23	9	1	9	17	19	6	2	19	38	42	15	3	117	16%	32%	36%	13%	3%
アルバイトの上司	1	2	7	20	7	1	3	15	13	12	2	5	22	33	19	81	2%	6%	27%	41%	23%
顔見知りの学生	6	22	15	1	2	11	16	16	5	1	17	38	31	6	3	95	18%	40%	33%	6%	3%
母親	21	11	11	7	9	15	7	12	9	7	36	18	23	16	109	33%	17%	21%	15%	15%	
医者	1	5	8	19	20	0	2	12	15	17	1	7	20	34	37	99	1%	7%	20%	34%	37%
郵便局員	1	7	25	8	5	3	4	19	17	4	4	11	44	25	9	93	4%	12%	47%	27%	10%
教授	0	2	4	11	26	0	2	1	11	28	0	4	5	22	54	85	0%	5%	6%	26%	64%
兄／姉	20	16	15	4	0	18	14	10	1	0	38	30	25	5	0	98	33%	31%	26%	5%	0%
上級生	5	9	18	7	0	4	9	18	10	2	9	18	36	17	2	82	11%	22%	44%	21%	2%
中年の人	5	7	12	11	6	2	1	17	16	4	7	8	29	27	10	81	9%	10%	36%	33%	12%
親友	15	18	17	7	1	9	19	19	5	0	24	37	36	12	1	110	22%	34%	33%	11%	1%
彼／彼女	18	14	16	4	0	10	13	17	7	4	28	27	33	11	4	103	27%	26%	32%	11%	4%
警察	4	2	13	12	9	1	3	9	14	12	5	5	22	26	21	79	6%	6%	28%	33%	27%
デパートの店員	0	18	20	6	0	2	12	19	11	1	2	30	39	17	1	89	2%	34%	44%	19%	1%
大学の若い先生	2	4	15	11	4	1	6	19	12	5	3	10	34	23	9	79	4%	13%	43%	29%	11%
ウエーター／ウエー トレス	8	12	11	2	0	7	10	16	1	1	15	22	27	3	1	68	22%	32%	40%	4%	1%
助手／秘書	1	4	10	16	8	1	3	8	19	6	2	7	18	35	14	76	3%	9%	24%	46%	18%
弟／妹	40	9	6	3	5	30	8	5	5	2	70	17	11	8	7	113	62%	15%	10%	7%	6%
面接官	0	0	3	6	30	0	0	1	6	37	0	0	4	12	67	83	0%	0%	5%	14%	81%
校長／学部長	0	0	0	14	28	0	0	0	6	37	0	0	0	20	65	85	0%	0%	0%	24%	76%

中国のV型は「校長／学部長」、「面接官」、「教授」、「医者」である。「教授」が中、日に共通である。中国では、日本と同様社会的な地位がはっきりしていればあまり親疎に影響されない特徴を持っている。「医者」に対する丁寧度は高いが、「アルバイト先の上司」に対する丁寧度はあまり高くはないことがわかる。以上、日、中の人物カテゴリーに対する相違を判明した。

5.4 属性別での特徴

前項では、中国の男性と女性に差があることがわかった。図 7 は中国で相手の人物カテゴリーの丁寧度を示す平均値の男女差である。

図 7 で中国の男女を比べると、順序や人物カテゴリー間の丁寧度の差がある。女性の改まった態度で接する人のことが男性より高いが、女性の「老板」（アルバイト先の上司）「同事」（アルバイト仲間）「哥哥／姐姐」（兄／姉）は男性のそれらより低い。

中、日を比較すると、日本の男女は順序や人物カテゴリー間の丁寧度の差は全体的に似ている。女性の改まった態度で接する丁寧度は男性よりも皆高い。しかも、女性は「彼/彼女」より「母親」や「兄/姉」などの肉親の方が気楽だと答えている。

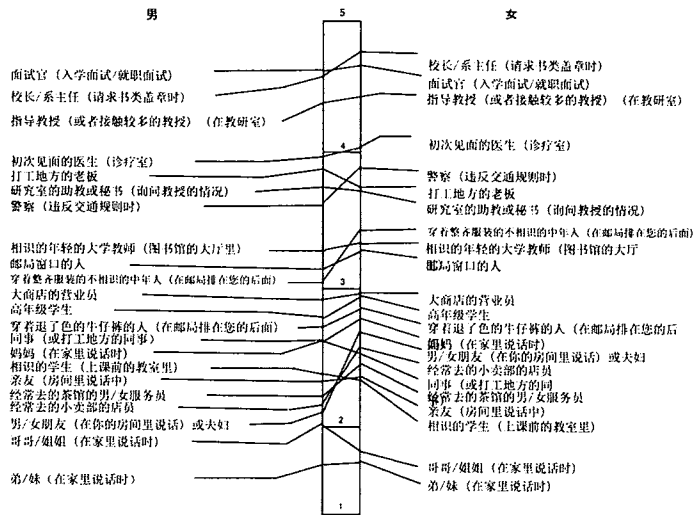


図8. 相手人物カテゴリーの丁寧度の平均値の男女差 (中国)

6. Part 3 どの表現をどの相手・場面に使うかについて

Part 3 では、井出他の研究の日米のものとの Part 3 と補充の Part 3 を合わせることになる。まず、質問 9 は各人物カテゴリーに対し、場面を想定して、どの表現を使うかを自由に書いてもらった。次に、質問 10 は Part 2 の人物カテゴリーの各々に対し、Part 1 のどの表現を使うかを答えてもらった。Part 3 の質問事項は次の通りである。

第三部分 (中国語)

9. 请想象一下您从下面左栏里写着的各种人借笔的场面。看见笔在桌子上, 或上衣兜里。请选择您认为最合适左栏里写着的各种人的表现, 然后写在右端的栏里。但如果您认为不可能接触的人, 可以不必回答。

场面・人物	您的回答
A. 穿着退了色的牛仔褲的人(色あせたジーンズを穿いた見知らぬ人)(在邮局排在您的后面(貴方の後ろに))	
B. 经常去的小卖店的店员(小売り店の店員)	
C. 同事(或打工地方的同事)(アルバイト仲間)	
D. 打工地方的老板(アルバイト先の上司)	
E. 相识的学生(教室で)(顔見知りの学生)	
F. 妈妈(母)(家で話す時)	
G. 初次见面的医生(診療室)(医者)	
H. 邮局窗口的人(郵便局の窓口の人)	
I. 指导教授(よく会う指導教官)(研究室で)	
J. 哥哥/姐姐(家で話す時)(兄/姉)	
K. 高年级学生(上級生)	
L. 穿着整齐服装的不相识的中年人(きちんとした服装の中年の見知らぬ人)(在邮局排在您的后面(貴方の後ろに))	
M. 亲友(親友)(在房间里说话中(部屋で話中))	
N. 男/女朋友(在你的房间里说话(部屋で話中))(彼/彼女)	
O. 警察(违反交通规则时(交通規則を違反する時))	
P. 大商店的营业员(大きなデパートの店員)	
Q. 相识的年轻的大学生(顔見知りの若い大学の先生)	
R. 经常去的茶馆的男/女服务员(ウエーター/ウエートレス)	
S. 研究室的助教或秘书(助手/秘書)	
T. 弟/妹(家で話す時)	
U. 面试官(入学面试/就职面试)(面接試験官)	
V. 校长/系主任(请求书类盖章时)(学部/学部長)(書類に判をつくことを求める時)	

10. 请想象一下您从下面左栏里写着的各种人借笔的场面。看见笔在桌子上, 或上衣兜里。左边栏里有个表现表, 请从里面选择您认为最合适右栏里写着的各种人的表现, 然后把记号写在右端的栏里。但如果您认为不可能接触的人, 可以不必回答。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| a. 能不能借一下那枝笔? | 穿着退了色的牛仔褲的人(在邮局排在您的后面。) |
| b. 可以借一下那枝笔吗? | 经常去的小卖店的店员(小売り店の店員) |
| c. 借一下那枝笔好吗? | 同事(或打工地方的同事)(同僚) |
| d. 我想请您借一下那枝笔(不知道可以)。 | 打工地方的老板(アルバイト先の上司) |
| e. 可以借一下那枝笔吗? | 相识的学生(上课前的教室里)(顔見知りの学生) |
| f. 想请您借一下那枝笔。 | 妈妈(在家里说话时)(母) |
| g. 可否请您借一下那枝笔? | 初次见面的医生(诊疗室)(医者) |
| h. 笔? | 邮局窗口的人(郵便局の窓口の人) |
| i. 可以用一下那枝笔吗? | 指导教授(或者接触较多的教授)(在研究室) |
| j. 能否借给我一下那枝笔? | 哥哥/姐姐(在家说话时) |
| k. 借一下那枝笔吧。 | 高年级学生 |
| l. 请借我一下那枝笔。 | 穿着整齐服装的不相识的中年人(在邮局排在您的后面。) |
| m. 借一下那枝笔。 | 亲友(在房间里说话中) |
| n. 借一下那枝笔可以吗? | 男/女朋友(在你的房间里说话)或夫妇 |
| o. 有笔吗? | 警察(违反交通规则时) |
| p. 想要借一下那枝笔(不知道可以)。 | 大商店的营业员 |
| q. 用一下那枝笔行吗? | 相识的年轻的大学生(顔見知りの若い大学の先生) |
| r. 借给我一下那枝笔吧。 | 经常去的茶馆的男/女服务员 |
| s. 请借一下那枝笔好不好? | 研究室的助教或秘书(询问教授的情况) |
| t. 请借给我一下那枝笔。 | 弟/妹(在家里说话时) |

- u. 请借一下笔给我。
- v. 笔有吗？

面试官（入学面试 / 就职面试）
 校长 / 系主任（请求书类盖章时）

ここで中、日それぞれの相手による言葉の使い分けのパターンと言葉による相手への接し方を分析し、それらのパターンの中、日間の比較を行なう。

6.1 だれにどの表現を使うか

表 10 はインフォーマントの Part 3 での質問 10 の回答を提示する。はじめは人物カテゴリーの番号である。横はそれぞれの人物に対する A から V までの表現である。

表 10 人物カテゴリーに対しての表現

人物カテゴリー	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	合計	
ジーンズの入	22	17	9	3	2	2	1	1	2	4	1	3		2	1		3	1		1	1	1	77	
小売店の店員	9	18	16	1	6	1		1	3	2	4	1	4	4	4		1	1				3	3	82
アルバイト仲間	8	4	17	4	2	1		5	3	2	5	1	9	3	13	1	1	1				3	5	92
アルバイトの上司	4	7	13	15	1	2	7		4	6	1	1		6				1			3	1		72
顔見知りの学生	1	2	8	1	10	1	1	6	6	2	3	1	5	1	26	2	4					1	9	90
母親	1	2	2		1		2	24	1		2	3	4	1	38		2		1	1	2	12		99
医者	4	5	4	4	7	4	18		1	11		5	1	7	1		3		3	11	1	2		92
郵便局員	8	10	5	6	4	2	4		6	6	1	6		6	1	1	8		5	5	4	2		90
教授	5	1	3	8	1	7	18		5	10	1	1	2	3			1	1	2	10	3			85
兄 / 姉					2			7	2		6	1	4		35	1	2					3	29	92
上級生	4	3	5		2	4	3		9	2	11	8	2	5	5	3	3		1			3	1	74
中年の人	7	4	3	6	4	1	8		2	8		8	1	11	1	3	6		3	2	2			80
親友	3	2	3		3		1	8	1	3	3	1	11	2	24		3	5	1	2	5	10		91
彼 / 彼女		1	3					9	1		6	3	8	3	25	3		4	1	1	2	14		84
警察	2	7	2	2	2	4	9	1	4	7		7	2	8	2	7	2		4	4	2	1		79
デパートの店員	3	5	9	1	2	1	5		2	4	1	9	7	14	2	5	5	1			6	1	1	84
大学の若い先生	2	6	5	3	3	6	3		3	6	1	3	2	8	2	4	6	3	3	4	2	3		78
ウェ이터 / ウェイトレス	1	4	4		3	7	1	2	4	3	2	4	6	6	3	1	4	5	5	1	2	4		73
助手 / 秘書		4	4	3	3	4	2		3	3	2	3		6	1	1	10	5	4	9	2	1		70
弟 / 妹		2						2	14				1	1	3		28	3		2		1	31	88
面接官	4	4	4	6		1	17	2		11				3	5		2	1	1	3	9	8	1	82
校長 / 学部長	4	2	3	9	1	6	13		2	9		3		15	1		1	2	4	8	5			88
合計	92	119	122	72	59	54	115	80	64	99	51	79	74	116	213	34	69	32	42	77	57	131		1842

回答は無答の場合、そのままである。表 10 は集計の実数のまますを反映している。Part 3 では、人物カテゴリーに対して、中国では 22、日本では 20 の表現のうちどれを使うかを見ることができる。又、各表現がだれに対して多く使われるかを見ることができる。中国では、22 の人物カテゴリーに対して、1842 の表現を収集した。「有笔吗？」が一番多い。

	校长/系主任	面试官	指导教师	医生	老板	助教或秘书	警察	大学教师	中年人	邮局窗口的人	营业员	高年级学生	穿牛仔裤的人	妈妈	同事	小卖部店员	男/女朋友	相识学生	亲友	男/女服务	哥哥/姐姐	弟/妹	
1.	●	●	●	●	●				●	●													
2.	●	●	●	●	●		●		●	●	●												
3.	●	●	●	●	●			●	●	●													
4.				●	●			●	●	●	●		●			●							
5.	●							●	●														
6.									●												●		
7.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●		
8.			●					●	●	●	●		●		●	●							
9.								●	●	●	●	●						●					
10.				●				●	●	●	●	●	●		●	●		●					
11.	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●											
12.			●			●		●	●	●	●												
13.						●													●	●			
14.			●	●		●		●	●	●	●	●											
15.									●														
16.		●														●		●					
17.	●	●																	●				
18.												●			●		●				●		
19.										●					●		●	●	●	●	●		
20.													●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
21.												●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
22.													●	●		●	●	●	●	●	●	●	●

	●	●	●	●	●	●
0-4.99	5-9.99	10-14.9	15-19.9	20-24.9	25-29.9	30-39.9
		9	9	9	9	9

图9 相手に応じた表現の使い分け (中国)

中国は、気楽に接する相手には、気楽な表現を使う。しかし、丁寧に接する相手には丁寧な表現を使うことは日本よりはっきりしていない。なぜなら、ここで使う中国語表現は日本とアメリカと比較するためにできるだけ日本とアメリカに近い表現を作ったからである。実際、中国人はより丁寧な表現を使う時、呼びかけを加える。相手に敬意を表わすために、「那枝笔」(そのペン)ではなく、「您的笔」(あなたのペン)をよく使う。だから丁寧に接す

る相手には丁寧な表現を使うことははっきりしていない。中国はどこかに丸がたよることも多かった。比較すると、中国は日本と似ているのであろう。

6.2 日、中のだれにどの表現を使うかの比較

図9から、中国ではだれに対してどの表現を使うかについての全体的なパターンが見られる。井出他(1986)の日米研究では、日本は表現と人物カテゴリーに相関がくっきりと見える「クッキリ型」で、アメリカはぼんやりと見える「ボンヤリ型」と言える結果が出た。しかし、本研究の結果を見ると、中国の場合気楽に接する相手には気楽な表現を使うというのははっきり現われているが、丁寧に接する相手には丁寧な表現を使うかどうかははっきりしていない。どちらの型ともはっきり言えない。

中国語の図を見ると、大きい丸が多いのは、気楽な表現 21.「有笔吗?」であり、それを気楽に接する相手、即ち、「母」「彼/彼女」「弟/妹」「兄/姉」「顔見知り学生」「親友」によく使う。「弟/妹」「兄/姉」には、20.「笔有吗?」という気楽な表現もよく使われる。2.「可否请您借一下那枝笔?」は「面试官」「学長/学部長」「医者」「中年人」向きの表現である。1.「我想请您借一下那枝笔, 不知道可以不。」は「老板」の丸が大きく、7.「借一下那枝笔可以吗?」は「学長/学部長」「教授」「大きなデパートの店員」が大きい。又3.「能否借给我一下那枝笔?」は「面试官」「医者」「中年人」、11.「请借给我一下那枝笔。」は「医者」「中年人」の丸が大きい。そして、10.「借一下那枝笔好吗?」は「老板」「小売店員」「同事」、12.「用一下那枝笔行吗?」は「秘書/助手」、4.「可以借一下那枝笔吗?」は「小売店員」「郵便局の人」「ジーンズの人」、8.「能不能借一下那枝笔?」は「ジーンズの人」の丸が大きいことが分かる。中国の丁寧表現は三種類がある。第一は「可否请您借一下那枝笔?」「我想请您借一下那枝笔, 不知道可以不。」「想请您借一下那枝笔。」「能否借给我一下那枝笔?」で相当に改まった相手に向き、第二は「请借给我一下那枝笔。」「请借一下那枝笔好吗?」「借一下那枝笔可以吗?」「用一下那枝笔行吗?」「请借一下那枝笔好不好?」で相当に改まった相手とやや改まった相手の両方に使え、第三は「借一下那枝笔好吗?」、「可

「借一下那枝笔吗?」「能不能借一下那枝笔?」でだれにでも使える中間的な丁寧度の表現である。

中日を比較すると、中国は気楽に接する相手には気楽な表現を使うという点では、かなりはっきりとした使い分けがある。日本には中国と違って、だれにでも使える中間的な丁寧度の表現が存在していない。丁寧な表現は三種類である。第一は「お借りしてもよろしいでしょうか」「貸していただけませんか」「貸して頂きたいんですけど」で、相当に改まった相手向き、第二は「貸して下さい」「貸してくれませんか」「いいですか」で、やや改まった相手向き、第三は「お借りできますか」「貸して頂けますか」「貸して下さいませんか」「貸してもらえませんか」で相当に改まった相手とやや改まった相手の両方に使えるものである。しかし、中、日の共通点は表現と人物カテゴリーが1対1で対応しているわけではなく、1人物カテゴリーに複数の表現が対応している場合が多いことである。

丁寧度の低い方の人物カテゴリーに対し、中国では「有笔吗?」が多く使われ、日本は「貸して」が多く使われる。

7. 中国人の言語表現と丁寧度について

質問9: 左の欄に書いてある人々から、ペンを借りる場面を想像してください。ペンは机の上や、シャツのポケットなどに見えています。それぞれの人に対して何といたしますか。右の空欄に書いてください。Part 1 で出てきた表現に限る必要はありません。

ここで、Part3の9における質問の回答について分析する。中国側102人による22項目の自由回答の表現1816個、男性は948、女性は868個である。ある表現が何回出現しても一種類と数える数え方によって、異なった表現は407種類と沢山あることが分かった。分析の手順は、

- 1) まず各人物カテゴリーに対して何種類の表現があるかを集計し、
- 2) それから表現全体として丁寧になるか
- 3) 表現の中のどの要素が丁寧度に関与しているかを見ていく。その分析の結果について述べることにする。

7.1 各人物カテゴリーに対する表現の種類

男女の表現を別々に集計した。結果を見ると、様々な表現がある。男女差、個人差、言葉を使う習慣の差が見える。二つの表現がただ一文字の差のものもある。

- 「ジーンズの人」に対して男性 26 種類、女性 35 種類
- 「小売店の店員」に対して男性 31 種類、女性 34 種類
- 「アルバイト仲間」に対して男性 37 種類、女性 36 種類
- 「アルバイト先の上司」に対して男性 31 種類、女性 32 種類
- 「顔見知りの学生」に対して男性 36 種類、女性 28 種類
- 「母」に対して男性 27 種類、女性 29 種類、
- 「医者」に対して男性 42 種類、女性 38 種類
- 「郵便局員」に対して男性 39 種類、女性 35 種類
- 「教授」に対して男性 32 種類、女性 33 種類
- 「兄／姉」に対して男性 29 種類、女性 28 種類
- 「上級生」に対して男性 31 種類、女性 28 種類、
- 「中年の人」に対して男性 33 種類、女性 37 種類
- 「親戚」に対して男性 35 種類、女性 36 種類
- 「彼／彼女」に対して男性 28 種類、女性 31 種類
- 「警官」に対して男性 30 種類、女性 32 種類
- 「デパートの店員」に対して男性 38 種類、女性 37 種類、
- 「大学の若い先生」に対して男性 29 種類、女性 34 種類
- 「ウエーター／ウエートレス」に対して男性 22 種類、女性 29 種類
- 「助手／秘書」に対して男性 31 種類、女性 31 種類、
- 「弟／妹」に対して男性 25 種類、女性 21 種
- 「面談官」に対して男性 31 種類、女性 31 種類
- 「学長／学部長」に対して男性 26 種類、女性 35 種類である。

7.2 要求緩和部分（呼び掛け、前置表現、後置表現）

中国では、全体を見ると、「丁寧さ」を現すために、要求緩和部分を加える現象が多かった。要求緩和部分（呼び掛け、前置表現、後置表現）について、今回の調査で見られたのは「请问（お尋ね致します）」「实在对不起」「麻烦您」（迷惑をかける）「不好意思」「对不起」「老师，对不起」「先生」「主任」「校长，对不起」「大夫」「教授，对不起」「对不起，请问（お尋ね致します）」「您」「医生，对不起」「老师，打扰了（お邪魔をしました）」「校长/主任，对不起」「请」「您的」などである。中国では、日本と違って、「です・ます」のような要求緩和部分がない。呼び掛け、前置表現、後置表現などのような要求緩和部分が付くとかなり丁寧になる。

特に、日米で見られなかった第2人称「您」、所有代名詞「您的」を使うと丁寧になる。本研究の「ペンを借りる」表現に308回見られる。

また、呼びかけは中国におけるもう一つの丁寧表現の特徴である。「老师」「先生」「主任」「校长」「大夫」「教授」などの呼びかけは44回見られる。

なお、積極的に働きかける「働きかけストラテジー」「请问」（お尋ね致します）、「麻烦您」（迷惑をかける）、「对不起」（すみません）、「请」などは多く使われる。「请问」は42回、「麻烦您」は7回見られる。「对不起」は63回見られる。「请」は402回見られる。

しかも、中国の要求緩和部分には、「一下」（ちょっと）があった。日本と違って、「一下」は付くと表現が丁寧になる語句である。

なお、「对不起，请问」「您」「一下」などと、「校长，对不起」「请」「您」「一下」などを組み合わせると、丁寧度が高くなる。

一般的に、ここで集まった要素は、丁寧な方から順に「您」「对不起，请问」「请问」「麻烦您」「校长，对不起」「老师，打扰了」「请」「实在对不起」「对不起」「不好意思」というようになる。

1) 述語部分の分析

(a) 文型の分析

ここで丁寧な依頼表現の言い方を次のように示す。

校长，/主任，对不起，我没带笔，您的笔我能用一下吗？

医生，对不起，请问，借用一下您的笔，可以吗？

教授，对不起，我忘带笔了，请您借我一下笔，行吗？

老师，打扰了，您的笔能借一下给我吗？

我想请您借一下那枝笔，不知道可以不。

老师，对不起，能否借给我一下您的笔？

请问，您能借我一枝笔用一下吗？

可否请您借枝笔给我，好吗？

麻烦借您笔用一下，好吗？

能麻烦您借我笔用一下吗？

您能借我一下您的笔，好吗？

我想借您的笔用一下，可以吗？

能否请您借一下那枝笔给我？

能否借一下您的那枝笔？

请让我用用您的笔，好吗？

可不可以借用一下您的笔？

请问，能不能借一下那枝笔？

可以用一下您的笔吗？

能借一下您的笔吗？

我能用一下您的笔吗？

これらの表現に、次のような丁寧な要素がある。例えば、「能麻烦您」「我想借您」「可否请您」「您可否」「您的」「请让我... 好吗」「您能」「想请您」「能否请您」「请问，能不能」「可不可以」「可以... 吗」「想... 可以吗」「... 好吗」「... 行吗」「请... 好吗」「能否让我...」「... 不知道可以不」「... 好吧」「请... 好不」などである。

「您能借...」「能借一下」は日本語の貸す／借りると同じく、貸し手側に視点を置いた表現と借り手側に視点を置いた表現であり、一種の同義表現と

も考えられるが、どちらに視点を置くかで丁寧度に差があるといわれることがある(久野 1977: 320)。

(b) 動詞

「能否请您…」とか「可不可以…」とか文型で使われる動詞は、「用用」、「用一用」、「用」、「借用」、「使用」、「借」である。この中に、「用用」、「用一用」の丁寧度が高い。56回使われる。

(c) 助動詞

助動詞「可以」、「能」などがある。その中の多くは、疑問又は否定に用いる、「能不能…」「可不可以…」の形で相手に丁寧に依頼する婉曲表現を作ると言えよう。また、「能否…」「可否…」はたくさんある。「能不能…」は「可不可以…」より丁寧度が高く、よく使われる。詳しく分析すると、次の結果を言える：

- ① 「可以…」疑問文は 185 回、「能…」疑問文は 120 回見られる。「可以…」疑問文はよく用いることを判明した。
- ② 「能不能…」疑問文は 60 回見られる。だが「可不可以…」疑問文は 3 回しか見られない。
- ③ 「能否…」疑問文は 77 回、「可否…」疑問文は 68 回見られる。

(d) 付加疑問詞

「…行吗?」「…好吗?」「…可以吗?」など付加疑問詞が文末に付くと表現全体の丁寧度が高い。386回見られる。

(e) 使役表現

「请让我…」「让我…」の使役表現も 19 回見られる。これも丁寧表現の一つである。

(f) 後置表現

また「不知道可以不」「好不」「好吧」「好么」のような後置表現も 40 回見られる。

7.3 要求緩和部分と述語部分の関係

要求緩和部分と述語部分はどういう関係があるか。表 11 の対照表から、どの要素が丁寧度と関わってくるかが読み取れる。

表 11 要求緩和部分と述語部分の組合せ

文脈	動詞	一下	事情説明	どうぞ、すみません	すみません	呼称
您的笔我能	用	一下	我没带笔		对不起	校长主任
您借我…那枝笔. 好吗?	用	一下			对不起	校长
您的笔, 可以吗?	借用	一下			对不起, 请问	医生.
可以…那枝笔吗?	用	一下			对不起	主任
谢谢! 您…我. 行吗?	借	一下	我忘带笔了	请	对不起	教授
您的笔能…给我吗?	借	一下			打扰了	老师
能否给我…您的笔	借	一下			对不起	老师
您带笔了吗? …好吗? 谢谢。		一下				金老师
您…我…笔吧	借	一下		请		老师
…那枝笔. 行吗?	借	一下				老师
…能您的笔好吗? 谢谢。	借用	一下				先生
能否…你的笔	借	一下		请		先生
让我…笔. 好吗	用用			请		先生
借枝笔…好吗? 谢谢。	用	一下		请		小姐
…笔给我. 好吗?	借	一下		请问		小姐
借我笔…好吗	用	一下				老师
我想…您…那枝笔, 不知道可以不可以?	借	一下		请		

全表現の丁寧度 5 種類以上の表現は 58 種類である。全体として、中国では様々な要素が丁寧度に関与していると言える。一言で言えば、長い表現が短いものより丁寧度が高い。又丁寧な表現がいろいろ数多くあるともいえる。つまり、この表は中国の依頼表現の自然なありさまを反映している。

8. 丁寧さの構成要素について

今回のアンケート調査に基づいて、中国語における丁寧さの程度を次のように整理した。

低い ↓ 高い	借枝笔。
	借给我一下这枝笔。
	请借给我一下这枝笔。
	请借一下那枝笔好不？
	能借我用一下这枝笔吗？
	能否借一下您的那枝笔吗？
	可不可以借用一下您的笔？
	请借一下笔给我用用，好吗？
	能麻烦您，借我笔用一下吗？
	请问，可以借用一下您的笔吗？
	我想请您借一下那枝笔（不知道可以不）。
	请问，您能借我一枝笔用一下吗？
	老师，打扰了，您的笔能借一下给我吗？
	老师，对不起，能否借给我一下您的那枝笔？
	校长/系主任，对不起，我没带笔，您的笔我能用一下吗？

日本語におけるポライトネスの「丁寧さ」の程度は井出ら(1986)では、次のように整理されている。

低い ↓ 高い	ちょっとそのペン貸して。
	ちょっとそのペン貸してくれない？
	ちょっとそのペン貸してもらえますか？
	ちょっとそのペン貸してくれませんか？
	ちょっとそのペン貸して下さい。
	ちょっとそのペン貸して下さいませんか？
	ちょっとそのペン貸していただけますか？
	ちょっとそのペン貸していただけませんか？
	ちょっとそのペンお借りできますか。
	ちょっとそのペン貸していただきたいのですけれど...
	すみませんが貸していただきたいのですけれど...
	ちょっとそのペンお借りしてもよろしいでしょうか？
	すみませんが貸していただけませんかでしょうか。
	すみませんがお借りできますでしょうか。
	すみませんがお借りしてよろしいでしょうか。
	申し訳ありませんがお借りしてよろしいでしょうか？
	申し訳ありませんがお借りしたいのですがよろしいでしょうか。
	申し訳ありませんが貸していただけませんかでしょうか。
申し訳ありませんがお貸しいただけますでしょうか。	

以上を見ると、これらの一連の例文から中国語と日本語に共通して見られることは、文が長くなればなるほど配慮の語句が加えられ、Level of politeness (丁寧さの程度)が増すことである。また、中国語の丁寧さを表わ

す表現は文頭と文末に置かれることが多い。日本語は文末で丁寧さを表わす表現が多い。中国人と日本人たちに対して行ったアンケート調査から、丁寧さを構成する要素として次の表のような要素が見出された。

表 13 丁寧度に関与している様々の要素

構成	中国語	日本語
敬称	校長・系主任・老師、大夫	先生
第二人称敬称	您(二人称の敬称)・您的	
副詞加え	请…	…ください
尊敬語(日本語の敬語体系)	…	…くださいませんか
謙讓語		お借りして、お借りしたいのです、お借りできます、いただけます
補助動詞		いただける、くださる、もらえる、くれる
丁寧語		…よろしいでしょうか、です、ます
前置表現(敬語)	请问, 麻烦您…	申し訳ありませんが …
前置表現	对不起, 打扰了	すみませんが …
語句挿入	…一下	ちょっと…
否定疑問形	能否…您的那枝笔? 能不能…? 可否…您的那枝笔?	…いただけませんか、くださいませんか
肯定疑問形	您的…我能…吗?	お借りできますか
後置表現	…好不? 不知道可不可以	
付加疑問	…好吗/行吗/可以吗?	いいですか、よろしいでしょうか
動詞重ね	用用	
不定数量詞	(一(下))	
使役表現	让(我)…	
終助詞	吧	ね

表 13 を見ると、中国語には、尊敬語「您」、「请」、「请+您」(もっと丁寧)など、いわゆる敬語語彙がある。しかし、中国語の敬語には日本語のような文法的表現法はなく、語彙の意味機能のみを持つ。特に2人称「您」、「您的笔」の敬語呼称、「校長・系主任・老師」など尊敬の気持をこめて使われる呼称がきわめて重要である。アンケート結果では、日本語にこのような語彙はほとんど見られなかった。また、「请」等敬語的的成分を付加してできた熟語「请问」がある。なお、疑問文(请…给我用用, 好吗? 能否・可否…您的那枝笔? 可以…您的笔吗? 请…好不? 可不可以…您的笔? 您的笔能…吗? 能…吗?)の統語の変形、動詞や(用用)不定数量詞(一(下))、敬意を表す慣用句(麻烦您・对不起・打扰了)などの語句の挿入、相手の意向を尋ねる文末表現(好吗・行吗・可以吗)や、婉曲表現などが「丁寧さ」

の要素である。「请」を「麻烦您」、「吗」を「不知道」、「可以吗?」を「不知道可不可以」に言い換えるともっと丁寧な表現になる。

日本語の丁寧さを構成する要素は尊敬語（下さいませんか）、謙譲語（お借りして、お借りしたいのです、お借りできます、いただけます）、丁寧語（申し訳ありませんが、よろしいでしょうか、ませんでしょうか、まずでしょうか、です、ます）といった、いわゆる敬語のほか、否定（いただけません、くれませんか）、疑問文（いただけますか、お借りしたいのですか）などの統語の変形、間接的表現、儀礼的表現、語句の選択、語句挿入（すみません、ちょっと）などさまざまな婉曲表現が用いられている。

9. まとめ

ここまでは中国の「ペンを借りる」場面での様々な依頼表現を分析してきた。本研究は井出他(1986)の研究を参照して、PDは、「最も改まった時」として認識される時を最大の丁寧度、「最も気楽な時」として認識される時を最小の丁寧度とし、この両極とする「丁寧さ」を測定するものさしを中国人にも日本人にもにも共通のものであると仮定した。そこで、中国人にも日本人にも、相手の人物カテゴリー・場面に対して持つPDの多きさに応じて丁寧表現を使い分けているという仮説を立て、調査、分析、検証した。

結果は、仮説が証明され、中国人にも日本人にもPDに応じた「わかまえ方式」の敬語行動を行っていることを判明した。中国人にも日本人にも、相手・場面に応じて表現を使い分けるその相関の程度のいくつかの共通と相違の結果が出てきた。そういう意味で、日中両国語の人々は日常生活に一般的な丁寧表現を使う。

中日の共通点は

- ① 表現の丁寧度は多くの言語要素の丁寧度が複合して出来上がる複雑なものである。
- ② 表現の丁寧度には、要求緩和部分も関わりがある。
- ③ 丁寧な表現ほど長い傾向がある。
- ④ 丁寧な表現にはバラエティがある。

- ⑤ 各人物カテゴリーに対して何種類かの表現がある。しかし、男女は各人物カテゴリーに対して違う種類の表現がある。

これらの一連の表現から中日の言語に共通して見られることは、文が長くなればなるほど、配慮の語句が加えられ、Level of politeness (丁寧さの程度)が増すことである。また、中国語の「丁寧さ」を表わす表現は文頭と文末に置かれることが多い。日本語は文末で「丁寧さ」を表わす表現が多い。

このように文化が異なると、異なった価値観に基づく心配りを反映する丁寧表現となるが、そのバリエーションは中国語においても、決して日本語に劣らない。円滑なコミュニケーションを図るために用いられる表現形態は文化により、様々に異なるが、話し手が相手や場面において使用する心配りそのものは、二つの言語ともかわらない。

本研究は中国の「ペンを借りる」という場面に見られた丁寧表現のタイプを次のようにまとめることができる。

タイプ 1 呼びかけを加える依頼 金老师，您带笔了吗？借用一下好吗？谢谢！（41）

タイプ 2 文頭敬辞による依頼 请您借给我笔用一下，好吗？（288）

タイプ 3 希望願意の依頼 我想请您借一下那枝笔，不知道可以不。（70）

タイプ 4 疑問文による依頼 可以借一下那枝笔吗？（247）

タイプ 5 内容に軽減化の緩和用語を加える依頼 借您笔，用一下。（87）

タイプ 6 和らげの語気助詞による依頼 借给我一下那枝笔吧。（51）

タイプ 7 和らげの後置疑問を付加する依頼 借给我一下您的笔，好吗？（386）

タイプ 8 聞き手の意思の確認による依頼 可否请您借一下那枝笔。（191）

タイプ 9 前置表現質問を加える依頼 请问，您能借我一枝笔用一下吗？（35）

タイプ 10 前置表現对不起を加える依頼 对不起，请问，能否借用一下您的笔？（60）

以上の研究から、一つの側面から中国人にも日本人にも、どの表現がどのくらい丁寧であるか、どの人物カテゴリーに対してどのくらい丁寧に遇するのか、だれにどの丁寧表現を使うのかに関する意識を持つことは判明した。どの人物カテゴリーに対してどの丁寧表現を使うか、日中両言語はそれぞれの丁寧表現の特徴があり、表現形式は異なることがわかった。しかし、今回は「ペンを借りる」の依頼表現の比較研究である。「ペンを借りる」以外の依頼

表現について、日中両言語はそれぞれの丁寧表現の特徴、使い方、「丁寧さ」に関する配慮の考察は今後の課題である。また、他の発話場面での人物カテゴリーに対してどのくらい丁寧に遇するのか、だれにどの丁寧表現を使うか、日中両言語の比較研究も解明したい。

参考文献

- 井出 祥子他(1986):『日本人とアメリカ人の敬語行為』南雲堂
 井出 祥子・彭国耀(1994):「敬語表現のタイポロジー」(『月刊言語 23-9』平成6年9月号)
 大野晋・柴田武編(1977):『岩波講座日本語 4 敬語』岩波書店
 荻野網男(1986):『日本人と中国人の敬語行動の対照言語学的研究』荻野網男発行
 木村英樹(1987a):「依頼表現の日中対照」『日本語学』p.6-10
 陶琳(1999):「ポライトネスの構成について」第21回日本比較文化学会年会口頭発表(東北学院大学)
 陶琳(2001):『日本語・中国語・英語における丁寧表現の比較』金沢大学:博士論文(未公刊).
 梁長歳(1999):「日中大学生の敬語行動の対照研究—「依頼表現」を中心に」日本社会言語科学会第4回研究大会発表ハンドアウト
 若生久美子・神田富美子(2000):「中国語における依頼表現の丁寧度」『中国語学』247日本中国語学会p.294-310
 Brown, Penelope and Stephen Levinson, (1987) *Politeness: Some universals in language usage*: Cambridge, Cambridge University Press